

狭山エリア新聞

【問合せ先】ASA 狭山

Tel: 04-2952-2246

【発行所】狭山エリア新聞編集室

Tel: 049-265-1886

Fax: 049-265-1887

【記事提供】狭山CATV

第3回入間川歴史と未来のウォークラリー

4月10日(土)、
「おいでよいるまおい
入間川春まつり」第3
回入間川歴史と未来の
ウォークラリー」が開
催されました。

このイベントは中心
市街地活性化推進事業
の一環として、中心市
街地内の賑わい創出と
商店街の活性化を図る
ために企画されました。
また、ウォークラリー
を通じて、参加者の健
康増進と入間川の歴史
と文化に接していただ
くことを目的にしていま
す。



12時からはメイン会
場の入間川七夕通り駐
車場で開会式が行われ、
ウォークラリーのルー
ル等注意事項が呼びか
けられた後、スタート
となりました。

今回のコースは3つあ
り、稲荷山公園まで行
く約7キロの「健康コー
ス」、入間川方面まで
行く約5キロの「元氣
コース」、商店街を中
心に回る約2キロの
「まちなかコース」が
設定されました。

参加者は、はじめに
登録料300円を支払
い、商店街協力店で当
日使用可能な500円
分の商品券と「抽選券」
をもらいます。そして、
入間川地区内にある10ヶ
所のポイントを巡って
「場所カード」9枚、
協力店で買い物をした
際にもらえる「お店カー
ド」5枚、ウォークラ
リーコースをまわるお
りびいから「おりびい
カード」を1枚、合計

15枚を集めると達成賞
として、もう1枚抽選
券がもらえます。この
抽選券はイベント終了
後に行われる人気のゲ
ム機やペアチケットな
どがあたるお楽しみ抽
選会に参加できます。

それぞれのポイントに
は語り部と呼ばれる人
たちが、歴史や文化な
どの解説を行い、カー
ドを配りました。

商店街では特別ワゴ
ンセール、メイン会場
では多国籍料理の模擬
店や地元企業である本
田技研工業の車の展示
も、ステージでは、
入間川中学校吹奏楽部
の演奏や、所沢出身の
4人組バンド J.U.L
E.P.S.などのスペシャ
ルライブ、また、バル
ンアートやマジックショ
ーが行われました。

今回ウォークラリー
には464名が参加し、
メイン会場には全体で
約1500名が来場し
ました。

第11回 桜祭り

4月3日・4日の2日間、
県営狭山稲荷山公園を会場に
第11回桜祭りが開催されまし
た。

初日には開会セレモニーが
行われ、文化団体
連合会 片桐会長が
挨拶をし、大勢の
人の参加に感謝の
言葉を述べました。

続いて、狭山市観
光協会 小高会長が
挨拶、仲川狭山市
長が祝辞を述べら
れました。

この日は午前11
時過ぎから午後4



時過ぎまで、特設ステージで同連合
会所属団体によるハワイアンやすこ
やか体操、演奏や舞踊、ダンスなど
様々な演目が用意され、2日間で22
団体が出演しました。

さらに、特設ステージの
脇には、観光協会の模擬
店が8店舗並び、狭山市
と友好都市の津南町も出
店しました。

当初、桜の開花状況が
心配されていましたが、
2日間とも家族連れや友
人同士で楽しいひととき
を過ごす姿が多く見られ、
公園内は大変賑わいまし
た。

標識アユの放流作業

4月11日(日)、入
間川豊水橋下流霞川と
の合流点上流左岸で、
標識アユの放流作業が
行われました。

荒川流域の清流復活
を目指しているNPO
法人荒川流域ネットワ
ークの「荒川流域再生プ
ロジェクト」が行って
いるもので、アブラビ
レを切除したアユを
「標識アユ」として放
流し、農業用など多く
の取水堰がある川でど
こまで遡上するかを調
査します。

1回目は2009年4
月に川越市の菅間堰上
流の入間川と越辺川が
合流する地点で行われ、
約9000匹の標識ア
ユが放流され、その後
の調査で、入間川の上
奥富堰下で約20匹が確
認されましたが、上流
では確認する事が出来
ませんでした。

そのため、今回の標識
放流作業は、前回より
もさらに上流にあたる
地点で行いました。



入間川会場には漁
協関係者や、さやま
環境市民ネットワー
ク川分科会のメンバ
ーのほかにも、環境に
関心のある学生や親
子連れなど市内外か
ら40人以上が参加し
ました。

今後はアユ釣り解禁
日の6月以降投網
による採捕や、漁協、

アユの麻醉のかけ方
から切除、放流までの
説明がされた後、参加
者は7人前後のグル
ープに分かれて作業を開
始しました。

川に作りたいけすから
アユを取り出し容器内
の弱い麻醉液につけ、
背びれの後ろにある泳
ぐのに差し支えのない
アブラビレを切除、個
体数をカウントして麻
酔が切れてから川へ放
流しました。切除には
アユの体を傷つけない
よう先のカーブしたハ
サミを使用します。

参加者は、麻醉をかけ
ても逃げ出してしま
うほどの勢いのアユに、
はじめは手間取って
いましたが、慣れてく
ると手際よくアブラビ
レを切除していきまし
た。

この日は、秋ヶ瀬取
水堰で採捕した約1万
匹のアユが用意され、
入間川会場では約35
00匹が放流されまし
た。

残りは同じように標識
作業が行われた越辺川
会場で放流されまし
た。

狭山シニアコミュニティカレッジ 入学式

4月6日(火)、狭
山市市民会館で、狭山
シニアコミュニティカ
レッジ(通称 SSSC
C)の入学式が行われ
ました。

SSSCは高齢者、
及びこれから高齢者に
なる人を対象にしたも
ので、パソコン学科・
ハンゲル学科・英会話
学科などいくつかのコー
ースが設置され履修期間
は1年間です。

急速に進む高齢化社会
に対応した地域にする
ために、SSSCでの
学習成果を再び社会に
還元してほしいという
市の意向が反映された
学校です。狭山市の特
徴ある取り組みで、平
成12年開校以来、外部
からも高い評価を受け
ています。

入間川会場には漁
協関係者や、さやま
環境市民ネットワー
ク川分科会のメンバ
ーのほかにも、環境に
関心のある学生や親
子連れなど市内外か
ら40人以上が参加し
ました。

今後はアユ釣り解禁
日の6月以降投網
による採捕や、漁協、

はじめに、SSSCの
運営を行っている「N
PO法人狭山市の高齢
社会を考える会」の山
川昭吾理事長が挨拶、
そして、仲川幸成狭山
市長は「成果を自分だ
けのものにすることな
く、今後とも地域社会
に大いに還元して下さ
い」と話しました。

第2部では、武蔵野

にはアユ釣りをする人
たちの理解と協力が必
要です。また、入間川
は今、全国的にもきれ
いな川になってきてい
ます。多くの市民にとっ
て川が憩いの場になる
ようご協力をお願いします」と話しました。



334名の入学生達
は、これから1年間各
自の専門を学びながら
学校行事の文化祭や体
育祭にも取り組み、受
講生同士の交流も深め
ていくということです。